

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリティオブライフ 那珂支援教室			公表日		2026 年 4 月 1 日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	ステージなどを使い多ときは対応をしている。	スペースは確保できている。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		100%	0%	適切な配置をしている。	適切な配置数を満たしている。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		43%	57%	対応できる部分は対応をしている。	施設の構造上難しい部分には細心の注意を払って対応している。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		100%	0%	毎日の掃除、喚起などを都度行っている。	勝北をする日もきちんと決め行っている。現状を維持していく。		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		71%	29%	個室の用意は難しいためパーティションなどで対応をしている。	状況に応じて部屋の角を個室に砂などで対応していく。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	86%	14%	MTなどで実施をし周知、実践に努めている。	より明確にわかるように業務の内容の精査を行う。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	57%	43%	MTなどで周知がきちんとできている。保護者から得られた情報を支援につなげたりなどしている。	保護者のニーズにこたえられるよう、結果を踏まえた振り返りを行う。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	MTでの意見の場などできちんと行っている。	さらに、よりよい支援ができるように努めていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	43%	57%	現在第三者評価は実施していないが、本結果を業務に改善に使用できている。	業務改善のための振り返りを継続して続けていく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修などを行い確保できている。	継続して続けていけるように努める。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	86%	14%	適切に公表ができている。	職員間でもきちんと話し合いよりよい支援プログラムを作成していきたい。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	86%	14%	サービス管理責任者を中心に取り組むことができています。	職員間での情報共有を意識し計画に充てている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	サービス管理責任者を中心に取り組むことができています。	職員間での情報共有を意識しよりよい支援をしていく。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	86%	14%	サービス管理責任者を中心に取り組むことができています。	職員全員が目を通し支援ができるようにしていく。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	57%	43%	MTなどを通じ職員全員が確認できるようにしている。	継続してより良い支援を行っていく。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	86%	14%	MTなどでの支援についての話し合いを行っている。	全職員が知りよりよい支援ができるようにしていく。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	相談などをしながらできている。	より良いものにするため、時間を作り取り組んでいく。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	季節ごとのイベントや工作などを入れ 教室環境などに生かしている。	様々な体験などを企画し取り組んでいく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	状況に応じて対応している。	職員間での連携を高めさらにいい支援を行って いく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	29%	71%	中々時間の確保が難しい時もあるが時間を とれるようにし取り組んでいく。	時間を確保し連携を高めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	29%	71%	中々時間の確保が難しい時もあるが時間を とれるようにし取り組んでいく	時間を確保し連携を高めていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	86%	14%	記録簿を準備し、モニタリングに生かせる ようにしている。	時間を確保し連携を高めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	57%	43%	担当する利用者のモニタリングを行い ミーティングも行っている。	時間を確保し適切に行っていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	57%	43%	ガイドラインに沿って行えるようにしている。	職員が理解を高め行えるようにしていく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	71%	29%	利用者に応じた対応や工夫を行っている。	職員全体が行えるようにしていく。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	86%	14%	サービス管理責任者等が参加している。	教室全体にも周知し支援の質を上げていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	71%	29%	関係機関との連携を高めている。	継続して取り組んでいく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	86%	14%	送迎時や電話での随時連絡などは取れている。	継続して取り組んでいく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	43%	57%	卒園した事業所などとは連携はできていない が保護者などから情報を得ている。	速やかに情報共有できるよう進めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	71%	29%	事業所間の連携は取れている。	継続して取り組んでいく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	43%	57%	研修は案内を行い、希望があれば受講できる 体制を整えている。	継続して取り組んでいく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	交流に関しては行っていない。	交流の場ができるように今後取り組んでい く。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	86%	14%	案内が来た場合参加している。	継続して取り組んでいく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	送迎時や、面談等でお伝えをし話せている。	継続して取り組んでいく。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	14%	86%	質問されたことには答えるようにしている。	研修等の機会を作っていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に順に説明し理解と同意が得られてい る。	継続して取り組んでいく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	支援中や送迎時面談等に話を確認するよう にしている。	継続して取り組んでいく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	86%	14%	面談等での説明を行い同意を得られている。	継続して取り組んでいく。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	面談等送迎時に取り組むことができる。	継続して取り組んでいく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	71%	29%	年に2回保護者会を実施し設けている。	継続して取り組んでいく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情窓口を設置しており迅速に対応している。	継続して取り組んでいく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	hugやsns等での連絡で通知している。	継続して取り組んでいく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	施錠などは毎回確認をし行っている。	継続して取り組んでいく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	保護者と連携を取り環境面などからサポートを行い、よりよい支援ができるようにしている。	継続して取り組んでいく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	14%	86%	地域住民を招待する行事を実施できていない。	企画や運営等を見直し運営をしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	職員、保護者等に周知を都度行っている。	継続して取り組んでいく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	避難訓練等を行い実施している。 BCP委員会の研修なども行っている。	継続して取り組んでいく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	契約の時などに確認をしている。	継続して取り組んでいく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時に聞き確認をしている。	継続して取り組んでいく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	研修や訓練を委員会を通して職員が受けている。	継続して取り組んでいく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	非常伝言ダイヤルなど、契約時にお話している。	継続して取り組んでいく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	職員が周知できるようにMTや資料を確認している。	継続して取り組んでいる。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	全職員が研修を行い適切な対応ができるようにしている。	継続して取り組んでいく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	研修を行っているため行う条件などは理解できている。計画にも載せている。	継続して取り組んでいく。	